

婦人科健診コースのご案内

女性特有の病気も定期健診をお受けになることで、早期発見をすることができます。女性医師による診察を行い、専門検査機関との連携のもと日本語でのレポートを作成いたし、きめ細かなフォローアップを行います。お気軽にご相談下さい。



婦人科健診料金表(婦人科健診のみ お申し込みの場合)

診察	医師による問診、触診	○
子宮頸がん	細胞診による子宮頸がんの早期発見	○
*婦人科超音波検査	子宮癌、子宮筋腫、卵巣嚢腫などの早期発見	○
*乳腺検査(超音波)	乳腺症、乳がんなどの乳房の異常の発見	○
*乳腺検査(レントゲン)	マンモグラムによる乳房のレントゲン健診	○
レポート(日本語)		○
料金(GST別)		\$345

* 印のある検査項目につきましては特殊検査機器が必要なため、オーチャードにある検査機関へ行っていただきます。検査後、当クリニック医師によります日本語レポートを作成させていただきます。



子宮癌検診

子宮癌には、子宮の入り口の癌(子宮頸がん)と、子宮の内膜の癌(子宮体がん)の2種類があります。子宮頸がんは、その頻度が子宮体がんに比べて高いため、一般的に子宮癌検診といいますが、子宮頸がん検診を指しています。

細胞診による子宮頸がんの検診は、子宮の入り口から細胞を擦りとりて特殊な処理をしていき、顕微鏡で丹念に細胞を調べていきます。個々の細胞や細胞の種類などを検討して判定します。

婦人科超音波検査は子宮や卵巣などの様子を画像として見るものです。細胞診による子宮頸がんの検査とあわせて行いますとより確実な婦人科癌のスクリーニングができます。また、子宮筋腫、卵巣嚢腫なども見つけることができます。

症状がないのに。。。何故？

精密検査で見えますと、癌ではありませんが、組織学的にも変化があり、そのままにしていると、その全てではありませんが癌の方向へ進んでいくものもあります。ですから、その前にチェックが必要になってくるのです。

乳腺検査(超音波+マンモグラフィー)

「マンモグラフィー」検査とは、乳房を上下からアクリル板で押しはさみ、平らにして、エックス線撮影を行う検査です。また、超音波検査と組み合わせることにより、幅広い診断が得られ、確実性も高まります。

これを行うことにより、触ってもわからないような段階の早期がん、しこりになる前の早期がんも発見できます。厚生労働省の指針でも、対象年齢を「50歳以上」から「40歳以上」へ引き下げを決定し、検診の普及を勧めています。特に自覚症状が無くてもご年齢が40歳以上の方、もしくは以前に何か異常を指摘された方、現にしこりなど気になっていらっしゃる方がいる方にお勧めします。

お問い合わせ先

日本人会クリニック(The Japanese Association Clinic,Singapore)

120 ADAM ROAD SINGAPORE 289899

TEL: 6467-0070/FAX:6467-1298

e-mail : clinic@jas.org.sg